



YMCA学院高校のウエルネスクラスの生徒たち

YMCA学院高校の チャレンジ



YMCA学院高校
アドバイザー
一般社団法人
大阪総合教育支援研究所
はらだ たかし
原田 孝

2020年から学習指導要領の改訂が順次行われます。それに先駆けて、文部科学省(以下、文科省)の新しい学力観が発表されました。今までの知識・論理性中心の学力観から、さらに全人格的なものに広げられています。いくつかの理由があるのですが、知識以外にスキルと人間性が盛り込まれています。コミュニケーション能力や主体性、協働性など、いわゆるソーシャルスキルと呼ばれる能力を身につけることが新しい学力観の全容です。

つまり、総合的に人格を育てることが教育の目的とされる時代になったということです。しかし、これはわれわれにとっては新しい学力観なのでしょう。1世紀以上も前から日本に生まれたキリスト教主義学校は、どの学校もこの総合的人格教育を目指してははずです。YMCAは、青年の教育組織として長い歴史を持ち、学校としても活力にみなぎる気鋭のキリスト教学校として、この総合的人格教育を目指していると思います。つまり、私たちは1世紀以上も前からこの教育観をもって、子どもたちの教育に臨んできたと言えます。先日、あるキリスト教学校の管理職の方との会話の中でこのような言葉が出ました。「ようやく文科省もそれに気づいたね。」印象的でした。

子どもたちの成長は、4つの特徴で表すことができます。「体の成長」「心の成長」「スキルの獲得」「価値観の成長」です。「体の成長」は、主にYMCAではウエルネス事業において取り組まれています。「心の成長」は、主に学校事業において、総合教育センターをはじめ、多くのカウンセラーが対応され、啓発活動や相談活動がなされています。「スキルの獲得」は、ソーシャルスキルの成長を促すアクティブラーニングやSST(Social Skills Trainingの略。社会性向上プログラム)を用いた教育活動。これからの社会をリードしてゆく人材が身につけるべき正しい判断力の基礎となる「価値観の成長」は、キリスト教教育が担っています。YMCAには、文科省の提唱する新しい教育観の基本となる考え方、つまり子どもたちの成長を支援する資源となる考え方は、すでに1世紀以上も前から備わっているのです。

また、子どもたちがその成長の過程で持つ課題は多岐にわ

たります。「心の成長」では、思春期危機と呼ばれる「おとなの心」となるための不安定な時期を迎えます。「スキルの獲得」では、発達のアンバランスがあります。先天的であったり生育環境に問題があったりしますが、その成長を支援しなければなりません。「価値観の成長」においては、子どもたちが置かれている社会環境などの影響で誤った倫理観や善悪判断において様々な問題が生じ、それに対応しながら価値観を育ててゆきます。このような成長過程の中で、教育機関としては、一人ひとりのお子さんのこれらの課題に対応し、子どもたちがのりこえる手助けをしなければなりません。具体的には、それらの様々な課題をもつ子どもたちに対して、きめの細かい多様な対応をするための多種にわたるコースを設定したうえで、スタッフの十分に行き届いた目が必要とされます。コミュニケーションや関係性を重視し、スキルを身につけることに重点を置いたコース、発達の課題の克服に重点を置いたコース、十分にスキルを身につけたお子さんには、進路を見据えた学力に重点を置いたコース。そして、お子さん一人ひとりの課題にきめ細かく対応できる少人数のクラス設定も必要です。

キリスト教学校には、ミッションという言葉があります。子どもたちが自分の将来を選ぶ際には、単に夢や趣味、好みで選ぶのではなく、自分の性格や特性をよく知り、身の回りの社会や世界をよく知り、その中で自分に何ができるのか、社会の中の自分の立ち位置を考えて将来を選んでいきます。社会が自分に何を求めているのかに気づくこと、つまり自分のミッションに気づくこと。これが本来の進路選択ではないでしょうか。教育プログラムの全体の構成も、この前提で作られる必要があると思います。

様々な教育実践を行っているYMCAには、総合的な人格教育のノウハウがちりばめられています。それらをスタッフ全員で有機的に結び付け、また、新しい試みを行いながら、さらなるキリスト教主義による人格教育に挑戦するのが、YMCA学院高校ではないかと思っています。このチャレンジに、私は期待しています。

■大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代のひとびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界のひとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

移転を
機に

Yチャレンジコース(週5日型)新設

YMCA学院高校

YMCA学院高校 副校長 **鍛治田 千文**

YMCA学院高校が開校当時と変わったことは、中学卒業後、すぐに入学する生徒が増えてきたことです。全日制ではなく、通信制を選ぶ生徒たちの理由は様々です。昨年一年を通して、私たちは生徒や保護者の声に今まで以上に耳を傾けてきました。「毎日通えるかわからない。でもいつか通いたい」という声に応え、次年度の移転を機に、週5日通学するコースを設置します。現コースは自分で半期ずつ自由に時間割を作れますが、通信制の週5日型は3年間で成長するカリキュラムになっています。休みの規定が緩やかで、留年がありません。安心できる居場所です。少人数の学校に慣れ、人と関わり、最終的には週5日通う身体と自己肯定感の向上、夢に向かう力をつけます。移転後は少人数教室の利点を生かし、アクティブラーニングの手法を使って授業を展開します。YMCAが創るユニークな学校として、一人ひとりが幸せになる学校を目指します。

この助走として、今年は新しい取り組みを2つ始めました。「不登校だったので勉強がわかるか不安」という声に対し、「学び直し」の授業を始めました。自分のわかることから英数国の復習をすることで、生徒たちは安心して授業を受けることができるようになりました。約100名もの生徒が「学び直し」に登録していることで、これほどにも学習に不安があったことを痛感しました。

また、生徒たちの「やりたい」という気持ちに応えるため、YMCAが得意とする、そして総合学科だからできる「グローバル」、「ウエルネス」などの4クラスも始めました。「規則正しく学校に来られるようになった」、「止まっていた勉強がわかるようになった」、「友達ができた」と在籍生からは嬉しい声が届いています。

多様な学び方ができる高校、そして人が変わることができる高校、それがYMCAです。



グローバルクラスの授業



クラスワークの様子



ホースライティングの授業



個別対応の様子

2017年4月 学院高校(天王寺) ⇄ 日本語学校(上町) 移転

現在、天王寺(天王寺区南河堀町)にあるYMCA学院高校と上町(天王寺区生玉町)にある大阪YMCA学院(日本語学校)は、2017年4月に校舎が入れ替わります。

天王寺では、YMCAらしく、より多様でグローバルな人々が集まる場所となり、4月からは300人以上の留学生が学びます。

上町では、YMCA学院高校が従来の週1~5日のスタンダード・マイスペースコースに加え、週5日のYチャレンジコース(週5日型)を新設します。

卒業生の言葉

めっちゃ楽しいです~9月卒業生より~

YMCA学院高校 2016年度前期卒業生 **村上 健二**

思い返せば5年前、中学卒業後すぐに就職した私は、21歳で高校生となりました。先生方がとてもフレンドリーで、学習もわかりやすく教えてください、長い間、学校から離れていた私でも苦痛はありませんでした。みんなで楽しくバスケットやバレーボールをした体育、特別活動で行った箕面の滝やボランティア活動、スポーツ大会も非常に楽しい思い出となりました。



しかし、卒業までの道のりは平坦ではありませんでした。途中で体

調が悪くなり、何度か休学しました。それでも退学せずにこられたのは、YMCA学院高校だからだと思います。「五感で自然を感じよう」で堺自然ふれあいの森へ行った野外学習は、私の学生生活の中でも最高の思い出となりました。この講座の受講生たちとともに仲良くなり、遠足のように楽しく感じた時、一人の生徒が「めっちゃ楽しいです。今まで中学生の時とかあまり学校に行けてなかったけど、こんなに楽しい授業は初めてです」と満面の笑みを浮かべている姿を見て、とても嬉しくなりました。

生徒にはそれぞれの事情があり、年齢も在学期間も違う中で本日卒業を迎えられたのは、先生方やいつも側で支えてくれた家族がいたからです。そのお陰で今の私があります。私の場合、しんどく辛い時期が多くありましたが、家族や仲間などのお陰で、今人生の中で一番楽しく幸せな日々を送っています。そしていつか、人を支えられるような人物になれるように、日々努力してまいります。



第22回 大阪YMCA インターナショナル・チャリティーラン2016

9月22日、花博記念公園鶴見緑地特設コースにて第22回大阪YMCAインターナショナル・チャリティーラン2016を開催しました。台風の影響が心配されましたが、当日は無事天候に恵まれ、大阪YMCAに関わる多くの方々が集う、大変活気にあふれた日となりました。(たすきリレー25チーム、グループラン46チーム、10kmラン13名、ファミリーキッズラン31ファミリー、ボランティア約150名、その他来場者約125名)

皆様のご協力により、4,118,184円(10月21日現在)の支援金を集めることができました。ご支援いただきました企業、各種団体、ワイズメンズクラブをはじめ、関わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。チャリティーランに寄せられた支援金を、大阪YMCAの障がい児・者支援プログラム実施費用として、大切に用いさせていただきます。



チーム全員で仲良くゴール!



号砲と共に
勢いよくスタート!!

たくさんの
応援の中、懸命に
駆け抜けます。

5人1組でたすきを
繋いでいきます。



1位
仲里ボクシングジムの皆さん(36分14秒)
高山勝成選手(現世界チャンピオン)率いる
チームの皆さんは、「きつかった」と言われ
ながらも、ダントツの1位でした。



2位
日本TCS②(日本タタ・コンサルタンシー・
サービス株式会社)の皆さん(42分21秒)
毎年力走されており、なんと2年連続で
表彰されました!



3位
堺ファインズの皆さん
(43分25秒)
メンバーの一人がパラリンピック
に出場しており、チャリティーラン
でも実力を発揮されました。

ベストコスチューム賞



ワイドさかいチームHEROES・HEROINESの皆さん
堺YMCAリーダー・OB・OGの皆さんが、昭和のアニメの
ヒーロー・ヒロインに変身されました。



サキと雪の女王ファミリー
駅のポスターを見てご参加くださり、
初めてにも関わらず、
ベストコスチューム賞に選ばれました。

チャリティーランが支援する 2016年度 大阪YMCA実施 障がい児・者支援プログラム (一部抜粋)

- ◎発達障がい児体育プログラム(サポート体育)
- ◎発達障がい児野外プログラム(野遊びクラブ)
- ◎聴覚障がい青少年国際キャンプ(HHキャンプ)
- ◎知的障がい児水泳プログラム(エンジェルスイミング)
- ◎知的障がい児キャンプ(どんぐりマリノキャンプ)
- ◎児童発達支援相談

コミュニティでのネットワークを広げる

防災セミナー

土佐堀YMCAセミナー委員会

コミュニティで取り組む防災・減災をテーマとした防災セミナー(土佐堀YMCAセミナー委員会主催)が、9月10日に開催されました。今回は大阪YMCA会館が所属する西船場振興町会と西区市民協働課との共催で、大阪市危機管理室の自主防災組織力向上アドバイザーと、自主防災の地域づくりを実践されているNPOとれじゃーBOX代表の大槻由美さんにご協力いただきました。セミナーの中で、日頃からの災害に対する心構えと備えについて、ワークショップも交えながらお話いただきました。

防災マップや被害想定の確認、避難時に留意する点や避難所の運営等、具体的な内容を通して、私たちに何ができるのか、何を考えておかなければならないのかを学びました。また、市区町村が整備している地域の防災・減災の取り組みを知り、町会や自治会などの自主的な地域組織との連携を進め、一人ひとりが家族と共に防災・減災について考える機会を、世代や立場を越えて各々のコミュニティで創り出していかなければならないと感じました。



大阪YMCA大会2016のご案内

日時 2016年11月23日(水・祝)

場所 大阪YMCA会館(土佐堀)

■Yアクターフォーラム

10:00~12:00/9階

■Yアクショングループ代表者会議

12:00~13:20/3階

■Yボランティア(会員)の集い

13:30~15:30/2階

詳細は、大阪YMCA大会の公式Facebookページをご覧ください。



問合せ 大阪YMCA大会事務局(大阪YMCA本部事務局内)
 【TEL】06-6441-0894 【FAX】06-6445-0297
 【E-mail】info@osakaymca.org

大阪YMCA/関西韓国YMCA/大阪YWCA
 合同祈禱週集会2016

テーマ:誰も置き去りにしない
 ~Leaving No One Behind~

毎年、世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が、1つのテーマをもとに心をあわせ、祈りの時を持つ世界YMCA/YWCA合同祈禱週集会。どなたでもご参加いただける楽しい集いです。

今年のテーマは“誰も置き去りにしない”。前半はテーマに沿った祈りのひととき。後半の交流会では、各Yのステキな出し物や活動報告があります。

皆様お誘い合わせて、ぜひご参加ください。お待ちしております。

【日時】2016年11月17日(木) 18:30~20:30

【会場】大阪YWCA

大阪市北区神山町11-12 TEL.06-6361-0838

- 地下鉄堺筋線[扇町]駅から西へ徒歩約5分
- 地下鉄谷町線[中崎町]駅から南へ徒歩約5分

【参加費】無料(礼拝の中で献金を捧げます。)

プログラム	第1部:礼拝	第2部:お食事と交流のひととき
	メッセージ	井口 智子牧師
	(日本キリスト教団河内松原教会)	

※人数把握のため、ご参加の際は下記問合せまでご連絡ください。

問合せ 大阪YMCA 本部事務局 総務

【TEL】06-6441-0894 【FAX】06-6445-0297

【E-mail】info@osakaymca.org

大阪YMCA早天祈禱会

■第283回 日時…2016年11月18日(金)7:30~8:30

証し…藤田 りかさん
 (大阪YMCA国際専門学校日本語学科 スタッフ)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ 大阪YMCA 本部事務局 総務

【TEL】06-6441-0894 【E-mail】info@osakaymca.org

■ユースリーダー安全支援金へのご協力に感謝申し上げます。

第3回報告(2016年9月度) 敬称略

鷓川 まり子 大道 真央 合田 彩夏 杉原 育夫 平良 勇人	竹中 豊明 田代 恵子 谷川 美世波 時 岳史 梨子田 次朗	樋上 恵一 堀 菜々子 森井 稔輝 盛矢 紗依 山地 弘伸	山本 愛 吉田 清三
--	--	---	---------------

皆様のご協力により、総額757,556円・420件(9月30日付)の募金が集まりました。感謝をもってご報告させていただきます。

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2016年9月度報告・敬称略

【新規会員】 木下 康生 白井 佑奈 土肥 奈津貴 橋本 健太郎	古塚 千絢 【継続会員】 榎本 高廣 金 秀男 辰己 由衣	中川 善博 西田 拳一郎 堀 有輝子 眞嶋 克成 望月 強	【継続賛助会員】 大志野産業株式会社 近鉄グループ ホールディングス株式会社 阪急電鉄株式会社
--	---	---	---